

## 2015 動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day” 開催される

平成 27 年 10 月 3 日、駒沢オリンピック公園中央広場（東京都世田谷区）において、「2015 動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day”」が、日本獣医師会の活動方針である「動物と人の健康はひとつ。そして、それは地球の願い。」をテーマとして、多数の来場者を得て盛大に開催された。

本行事は、第 9 回目を迎えるが、動物の診療だけではなく人の健康にも深くかかわるさまざまな仕事に取り組む獣医師の役割とともに、動物たちが担う社会的役割の多様性を広く一般に普及して理解を促進することにより、動物愛護思想の普及・啓発、人と動物が共存して生きる豊かな社会の実現に寄与することを目的に開催する公益目的事業である。本事業は日本獣医師会が主催し、関係省庁・獣医師関係団体等の後援、関連企業等の協賛、関連団体、獣医学系大学等の協力のもと、獣医師への理解を深めてもらうよう多数の催し物が企画され、獣医学系大学の学生、高校生、動物飼育者等をはじめ、多数の一般市民に来場いただき、来場者総数は 29,000 名となった。

当日は、開会式で、本会蔵内勇夫会長から、「本日は林 芳正農林水産大臣、高市早苗総務大臣、自民党獣医師問題議員連盟麻生太郎会長の名代として幹事長の森英介衆議院議員、公明党獣医師問題議員懇話会会長の斉藤鉄夫衆議院議員ほか、多数の来賓並びに来場者の皆さまをお迎えし、また、全国 55 の地方獣医師会をはじめ、協賛・協力をいただいた企業・団体等の皆さまの力強いご支援のもと本イベントが盛大に開催されることに感謝申し上げます。獣医師の職責は、動物の健康を守ることを通じて人の健康を守るのみならず、自然環境の保全、食の安全の確保等多岐に渡っている。こうした獣医師の役割に加え、動物がいかに人の暮らしに役立っているか、動物との生活がいかに素晴らしいものであるかを広く国民の皆さまにご理解いただくためのイベントである。来場された皆さまに、獣医師と動物たちからの贈り物がいっぱい詰まった楽しい 1 日を過ごしていただけることを願っている」旨の挨拶がなされた。続いてご来賓の林芳正農林水産大臣、高市早苗総務大臣、自民党獣医師問題議員連盟幹事長の森 英介衆議院議員、公明党獣医師問題議員懇話会会長の斉藤鉄夫衆議院議員の挨拶、自由民主党獣医師問題議員連盟事務局長 北村誠吾衆議院議員、公明党獣医師問題議員懇話会幹事長 高木美智代衆議院議員、自由民主党 山際大志郎衆議院議員、自由民主党 福山 守衆議院議員、自由民主党 片山

さつき参議院議員、自由民主党 大家敏志参議院議員、東京都獣医師会顧問の自由民主党 越智隆雄衆議院議員の紹介があった。関係省庁幹部、特別協賛者等来賓の紹介、祝電披露の後、本会村中志朗副会長、酒井健夫副会長から特別ゲストの垣内りかさんに対する 1 日動物親善大使任命が行われた。続いて日本全薬工業株式会社及びメリアル・ジャパン株式会社から本会に 200 万円が贈呈されたセーブペットプロジェクト寄付金贈呈式が行われた後、放鷹義塾により、開会宣言のメッセージを携えた鷹が客席の後方から、砂原和文副会長のもとへ飛んで行く演出が行われ、砂原副会長から開会が宣言された。同時に、東京都立園芸高等学校の協力によりステージ脇から鳩が一斉に飛び立ち、開会に花を添えた。

引き続き、メインステージでは、会場を訪れた自由民主党 三原じゅん子参議院議員からの激励挨拶、東京都獣医師会の協力による自由民主党 越智隆雄衆議院議員を迎えてのトークショー「ペットと生きて健康 そして元気に長寿」、日本獣医師会による「マイクロチップを知っていますか?」、テレビ新潟放送網による日本獣医師会推薦の映画「夢は牛のお医者さん」監督の時田美昭氏を迎えたトークショー、特別協賛社であるロイヤルカナンジャパンがサポートする活動である Team Hope によるステージ「ペットの予防はじめませんか?」、中央畜産会ステージ「農場 HACCP って何?」、農場どないすんねん研究会の協力により獣医師の仕事と役割を紹介する「知っていますか? 獣医師の仕事」、鳥根県獣医師会及び鳥根県の協力による人気ご当地キャラクター「しまねっこ」のダンスステージが開催された。

また、イベントステージでは、東京都獣医師会及び東京都獣医師会霊園協会による「動物感謝祭 ～命への感謝～」が行われ、公明党獣医師問題議員懇話会幹事長 高木美智代衆議院議員、自由民主党 片山さつき参議院議員から挨拶された。さらに、家庭動物愛護協会によるドッグダンス、埼玉県獣医師会の協力によるチンドン歌謡ショー、日本獣医学生協会による全国の獣医学系大学の魅力を獣医学生が学園祭の雰囲気ながらに紹介する「あにまる学園祭」、環境省動物愛護管理室の協力による「愛犬まると飼い主の小野慎二郎さんによる ～愛犬と楽しく暮らすためのヒント～」、ジャパンケネルクラブによるアジリティ教室 PR、おしゃれドッグファッションタウンによる「ペットファッションショー」が開催された。

展示コーナーでは、本会が獣医学生協会及び家庭動物

愛護協会の協力を得て実施した「1日獣医師体験コーナー」に整理券待ちの列が絶えず、体験した子どもたちは獣医学生の指導を受けながらの聴診体験に瞳を輝かせていた。また、全国の獣医学系大学がブース出展した「獣医学系大学コーナー」では、東京農工大学のミニホースとシバヤギのふれあいコーナーが人気を集めたほか、農場どないすんねん研究会による全国の大学クイズラリーが盛況であった。このほか、パネル等を用いた各企業・団体の活動紹介、さらに「各都道府県市獣医師会コーナー」では北海道獣医師会、東北獣医師会連合会、栃木県獣医師会、群馬県獣医師会、埼玉県獣医師会、千葉県獣医師会、神奈川県獣医師会、東京都獣医師会、長野県獣医師会、岐阜県獣医師会、中国地区獣医師会連合会、宮崎県獣医師会が出展し、各地の取組みが紹介されるとともに、飲食物の提供を行ったブースでは各地の畜産物を賞味しようと来場者が列をなしていた。また、東京都獣医師会の協力により、万一に備え動物救護所が設置された。アトラクションとしては、子どもたちを対象とした「乗馬体験」(日本中央競馬会)、ウサギ、モルモット、ミニブタ等とふれあう、「動物ふれあいコーナー」(東京都立園芸高等学校)、馬の蹄鉄投げで点数を競う「蹄鉄輪投げゲーム」(日本装削蹄協会)では、子どもたちが笑顔で参加し、警察犬、災害救助犬の実演が行われた「働く動物たち」(ジャパンケネルクラブ)、「聴導犬のデモンストレーション」(聴導犬普及協会)、鷹匠による伝統技術デモンストレーション(放鷹義塾)、アジリティ教室(ジャパンケネルクラブ)等では、来場者は動物たちの演技や活躍に終始感心していた。

すべてのプログラムの最後にメインステージで行われた閉会式では、高橋三男動物感謝デー企画検討委員会委員長・関東地区理事から、閉会挨拶として、本年のイベントが盛会裏に終了することへのお礼と来年の開催成功への願いが述べられた。続いて北村直人日本獣医師会顧問・日本獣医師政治連盟委員長から閉会が宣言された。

日本獣医師会では、今後とも、日本獣医師会・獣医師会活動の指針の理念に基づき、本行事等を通じた、広く国民に対する動物との共生の重要性や獣医師の職務等の理解の醸成に努めることとしている。

以下に後援、協賛いただいた省庁、自治体、企業、団体をあらためて紹介するとともに、多くの企業・団体からの温かい支援、全国55地方獣医師会、地区獣医師会連合会の出展、協賛等への協力、さらに日本獣医学生協会及び日本動物看護職協会の多数のボランティアスタッフによる事業運営支援に対してあらためてお礼申し上げたい。

#### 2015 動物感謝デー in JAPAN 後援・協賛・協力団体

##### 【後援】

農林水産省、環境省、厚生労働省、文部科学省、外務

省、国土交通省観光庁、内閣府食品安全委員会、東京都、世田谷区、目黒区、公益社団法人 日本動物病院協会、公益社団法人 日本獣医学会、一般社団法人 日本動物看護職協会、World Veterinary Association、ヒトと動物の関係学会、AIPO(動物ID普及推進会議)

##### 【特別協賛】

共立製薬株式会社、日本全薬工業株式会社、ロイヤルカナン ジャポン合同会社、メリアル・ジャパン株式会社、アニコム損害保険株式会社、株式会社ペットオフィス

##### 【協賛・協力】

全国55地方獣医師会、日本中央競馬会、公益社団法人 全国農業共済協会、公益社団法人 畜産技術協会、公益社団法人 中央畜産会、公益社団法人 日本愛玩動物協会、公益社団法人 日本装削蹄協会、公益社団法人 Knots、一般社団法人 家庭動物愛護協会、一般社団法人 ジャパンケネルクラブ、一般財団法人 全国緊急災害時動物救援本部、一般社団法人 全国ペット協会、一般社団法人 日本小動物獣医師会、一般社団法人 日本聴導犬推進協会、一般社団法人 日本養豚開業獣医師協会、一般社団法人 ペットフード協会、特定非営利活動法人 野生動物救護獣医師協会、狂犬病臨床研究会、農場管理獣医師協会、農場どないすんねん研究会(NDK)、放鷹義塾、学校法人 シモゾノ学園/国際動物専門学校・大宮国際動物専門学校、学校法人 ヤマザキ学園/ヤマザキ学園大学、東京都立園芸高等学校、日本獣医学生協会、北海道大学、帯広畜産大学、岩手大学、東京大学、東京農工大学、岐阜大学、鳥取大学、山口大学、宮崎大学、鹿児島大学、大阪府立大学、酪農学園大学、北里大学、日本獣医生命科学大学、日本大学、麻布大学、株式会社アートよみうり、イオンペット株式会社、イツツ・コミュニケーションズ株式会社、株式会社 インターズー、株式会社 インターベット、環境プラント工業株式会社、絹株式会社、株式会社 クレディセゾン、株式会社 三幸、株式会社 誠文堂新光社、千寿製薬株式会社、総合住宅展示場駒沢公園ハウジングギャラリー、株式会社 ツームワン、DSファーマアニマルヘルス株式会社、デビフペット株式会社、株式会社 テレビ新潟放送網、Dog Life Design、日生研株式会社、株式会社 日本動物高度医療センター、富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ株式会社、株式会社 プライズコミュニケーション、平和会ペットメモリアル、有限会社ビッグブリッジ、株式会社 緑書房、森久保薬品株式会社、ユニ・チャーム株式会社、ライオン商事株式会社、ルノー・ジャパン株式会社、株式会社 レティシアン、株式会社 安田システムサービス、損害保険ジャパン日本興亜株式会社



図1 主催者代表挨拶をする藏内会長



図2 来賓挨拶をする林 芳正農林水産大臣



図3 来賓挨拶をする高市早苗総務大臣



図4 来賓挨拶をする自民党獣医師問題議員連盟幹事長の森 英介衆議院議員



図5 来賓挨拶をする公明党獣医師問題議員懇話会会長の齊藤鉄夫衆議院議員



図6 セーブペットプロジェクト寄付金贈呈式  
(左から日本全薬工業(株)渡辺 悟執行役員, メリアル・ジャパン(株)永田正代表取締役社長, 本会藏内会長)



図7 村中副会長, 酒井副会長から一日動物親善大使の任命を受けた垣内りか氏



図8 開会宣言を運ぶハリスホークを待ち受ける砂原副会長



図9 一日獣医師体験コーナーで獣医学生の指導を受けながら犬の心音を聴く児童



図10 動物ふれあいコーナー（東京都立園芸高等学校）で動物とふれあう来場者



図11 「知っていますか？ 獣医師の仕事」（農場どないすねん研究会）



図12 乗馬体験（日本中央競馬会）をする参加者



図13 「動物感謝祭 ～命への感謝～」ステージ（東京都獣医師会／東京都獣医師会霊園協会）で作文を朗読する世田谷区立山野小学校の代表児童 近藤里結さん



図14 災害救助犬デモンストレーション



図15 閉会の挨拶をする高橋三男動物感謝デー企画検討委員会委員長・日本獣医師会関東地区理事



図16 閉会宣言をする北村直人日本獣医師会顧問・日本獣医師政治連盟委員長